



コープさっぽろ組合員活動委員会

KATSUDOU REPORT 2025

活動レポート2025



1

産直交流会

2025年度の産直交流会は全道9か所で開催し、参加人数は358名と前年を大きく上回り、多くの組合員さんにご参加いただきました。直接産地を訪れ、生産者さんと交流することで、理解を深め、地元の食材を食べて応援しようという気持ちが高まる取り組みとなりました。



2

全道組合員活動委員 交流会



今年もリアルとオンラインのハイブリッド開催で、全道の活動組合員さんが札幌に集合し、1年間の地区での活動紹介や交流を行いました。最後に、お楽しみ大抽選会を開催し、笑顔あふれる時間となりました。

3

食べる・たいせつフェスティバル

18回目となる今年は、全道8会場で開催し、延べ35,924名にご来場いただき、大盛況に終わりました。各地区委員会では、地域の企業や団体とコラボしたブース出展など、より地域に根差した取り組みが広がり、たくさんの方の親子の笑顔を見ることができました。



4

クリーンアップ



今年は海のクリーンアップ大作戦だけではなく、初の試みとなった街のクリーンアップ大作戦にも参加。街クリの開催がない地区も自発的に街の清掃活動を行い、地域の美化や環境への意識を高める取り組みが広がりました。



5

植樹



各地区で自治体や関係団体と連携し、協定植樹や植樹祭を今年も実施しました。全道で約480名の組合員さんにご参加いただき、苗木を植えるだけでなく、散策や工作、木工教室などのワークショップも行い、楽しみながら未来の森つくりと環境への理解を深めました。

6

募金活動



今年度は、「ミャンマー地震緊急募金」「平和スタディツアー派遣募金」「ユニセフよむ・かく・うれしい支援プロジェクト」「大分市佐賀関の大規模火災支援募金」に取り組み、多くの温かい善意をいただきました。プロバスケットボールチームのレバンガ北海道とコラボして募金活動を行うなど、新たな取り組みも進んでいます。



7

ラブコープ総選挙



対象商品の中から、各地区で一押しの商品を選び、店頭活動を行いました。ポットを用意して試飲してもらったり、簡単な試食を用意したりと、お店と協力しながら投票を呼びかけました。



みんなで作って、みんなが決める



みんなの「推し」が、形になったら！！

商品開発プロジェクト

「みたらし風ひきわり納豆」をピックアップ！

関連会社・北海道はまなす食品とタッグを組み、新しい納豆づくりに挑戦しました！
完成したフレーバーは、誰もが一度は思いつきそうで、実はこれまで商品化されてこなかった「あの味」。



犬島 今だから言えるけど、私はあまり乗り気じゃなかった。納豆ってメーカーも種類もたくさんあるでしょ。「今さら私たちに何ができるのかな？」というのが正直な気持ちでした。



牛久保 コープさつぽろ60周年ということもあって、「話題になるものがいよいよね」という話になった。そう考えると「みたらし」は、ほかにはない商品になりそうな予感がありました。



南 私たち、いろんな企画や商品について話し合うけど、いつもは割と意見がまとまりやすいんです。でも今回は違った。一人ひとり好みがあって、意見が分かれて、個性が見えた。納豆一つで、こんなにもみんな思いを持っていることがわかって、すごく面白かったです。



斎藤 ここまで納豆に向き合ったことは、今までなかったかもしれない。



鈴木 今回のプロジェクトがなかったら、私、きっとこの味に出会うことはなかったと思う。先入観にとらわれずに、やってみる、食べて



立澤 私たち十数人しかいないのに、こんなにも意見が違うわけですよ。一つの商品を企画して世の中に送り出すって、本当にチャレンジだし、身を削る思いで取り組んでいることがよく分かりました。だから、「おいしくないよね」とか、「これ売れないよね」なんて、簡単に言っちゃいけないなって。



川村 北海道はまなす食品さんは、みんなのアイデアを頭ごなしに否定せず、取り入れて、一つの形にしてくれた。これってすごいと思う。本当に、感謝しかありません。



本間 メーカーさんにとっても挑戦なんだよね。だったら私たちも、とことんチャレンジしようという気持ちになりました。



佐藤 「みたらし味」をマネするメーカーさんが現れたら、ホンモノってことだね。



藤田 そうだね。これをきっかけに、はまなす食品の認知度が上がったらいなと思う。



庄司 せっかくなら、たくさん売れるように、地区の店長さんとも相談しながら、売場づくりと一緒にやっていきたいです。一番を取りたいですね。



松浦 パッケージも一緒に考えてすごくかわいいのができました。60周年のお祭りを、とことん楽しもうと思います。



久保 最初は「うれしい」「楽しい」だったのが、いつのまにか「責任重大だな」って思うようになって。もちろん、十人いたら十人みんなに受け入れてもらえるとは思っていません。でも、もう絶対、絶対、売りたいと思います！

これからも組合員代表として組合員さんが求めている商品づくりを目指していきます！

組合員と作る商品開発の歴史

2024

北海道とうきびアイス粒入り

2025

にんべん濃厚つゆ

2026

大惣菜たれ

2026

みたらし風ひきわり納豆

2026

トッポギ風焼うどん

2026

開発中

味しらべ新フレーバー





生産者交流

農業賞を受賞された生産者「大地のMEGUMI」「中谷牧場」と交流し、それぞれの熱い想いを見聞きする中で、改めて応援していきたいと感じました。「えづらファーム」「ボスアグリワイナリー」「さいこうファーム」との交流は前年に引き続き企画し、組合員さんと生産者さんの距離も縮まり、良い交流ができていると実感しています。今後も応援・交流を続けていきたいです。



街のクリーンアップ大作戦!

今年度初の試みとして、北見藤高校の生徒さんと共に街中でゴミ拾いを実施し、若い世代との交流を通じて、清掃の楽しさや大切さを共有することができました。次に、「楽しみながらゴミ拾いをしよう!」という意見から、ハロウィンの仮装でゴミ拾いを企画しました。街の方々からも驚きと笑顔で応援をいただき、楽しいイベントとなりました。いずれの企画も大成功を収めることができました。



様々な学習会

「バナナ学習会」「防災学習会」「コンポスト学習会」「小川珈琲学習会」を開催し、いずれも参加者から大変好評でした。バナナ学習会ではバナナの食べ比べを行い、防災学習会では実践編として、泥水ろ過装置を作る実験を行いました。コンポスト学習会では、環境に配慮した取り組みへの関心が高まり、コンポストを始める人が増えるかも?!と嬉しい予感も!「小川珈琲」の学習会では、淹れ方を体験し、珈琲の奥深さを学ぶことができました。



「ぶた60キロ祭り」 豚肉60キロを食べつくせ!

コープさっぽろ創業60周年を記念し、地区本部、宅配、エネコプのオールコープで協力し、豚肉60キロを食べつくすBBQを実施しました。「中札内の十勝野ポーク」や「岡本農園の玉ねぎ」など、十勝産食材にこだわりました。豚汁には「和田農園のごぼう」など、コープさっぽろならではの食材を使用しました。他にも、玉ねぎ・じゃが芋の詰め放題、ゲーム大会、大抽選会、トドックダンスなどを行い、大いに盛り上がりました。



芽室満喫ツアー

芽室満喫ツアーは、畜産、農産SV同行のもと開催されました。大野ファームでは、「未来めむろし」への安全・安心な餌づくりのこだわりを学び、自家製パン付きのランチを堪能しました。ご近所野菜生産者の川西さんの畑では、ナスやトウモロコシの収穫体験に加え、趣味で栽培しているブドウ畑を見学、試食をし、帯広でのブドウ栽培の可能性を感じる体験となりました。



トドックのひみつ! おしえてトドックさん

宅配帯広北センターにて、朝のお仕事を中心に、担当者の皆さんが「どのようなお仕事をしているのかな?」という質問をしたり、朝の体操やミーティングに参加した後、トラックへの積み込みの様子を見学しました。安全運転を学ぶため、トラックのお見送りも体験しました。大きな冷蔵庫や冷凍庫に、子どもたちは大喜びでした。呼気検査(アルコールチェック)にも挑戦し、会場は一番の盛り上がりを見せました。



コープさっぽろ組合員活動 北見地区委員会
@kitamiko1023



コープさっぽろ組合員活動 帯広地区委員会
@coop.na.obiko

介護予防音楽レクリエーション

ゆる元体操からの音楽レクリエーション。みんなで音楽に合わせて歌って踊り、楽しく介護予防を学びました。



ふれあいカフェ♡

室蘭地区の新しい取り組みとして、月1回店舗でふれあいカフェをオープンしました!コープ商品の紹介や組合員活動のお誘いを行い、仲間を増やしながら、組合員さんと楽しく交流しています。



コープさっぽろ組合員活動 室蘭地区委員会
@kumikatu_muroran



コープ未来の森 室蘭地区バスツアー

組合員さんと江別のエコセンターへ見学に行きました。コープさっぽろの環境への取り組みや、リサイクルの仕組みを楽しく学ぶことができました。また、「エコステの森」の散策もを行い、森づくりについても楽しく学ぶことができました。

生産者交流 ごとう農園

ごとう農園さんにて、森の散策や植樹のお話、収穫体験など、毎年楽しく生産者交流を開催しています。採れたて野菜で作るカレーは最高です!



Cool KUSHIRO 楽しいね!笑顔溢れるチームの絆♡

各エリアの活動

釧路広域連合清掃工場の見学を通じて地域を学び、コープのリサイクル回収品目に合わせて大人のおさがり市を開催しました。また、好きを持ち寄る部活動「あんご部」や小川珈琲学習会など、エリアの「やりたい!」を実現する特色ある活動を展開しました。



しほろ高原牛 産直交流会

初めての地区間交流として、札幌東地区委員会と共に牧場および、と畜場の視察を行いました。生産から食肉処理に至る一連の現場を、他地区の方々と意見交換をしながら巡る貴重な機会となりました。



釧路市動物園 わくわく体験ツアー

コープさっぽろ60周年企画&釧路市動物園50周年の交流企画として、道東にちなんだエゾシカなどのガイド付き見学や、寄木コースター作りのワークショップを行い、わくわくの体験がいっぱいでした。



コープさっぽろ組合員活動 釧路地区委員会
@coop.no.kushie



音別町特産 大ブキ収穫体験&富貴紙漉き体験

フキ収穫では、大地の恵みをたっぷりいただきました。さらに、フキの皮が美しい和紙に生まれ変わる、繊細で奥深い手仕事に感動しました。自らの手で「採る」「作る」の工程を体験し、自然の力と知恵が結びつく素晴らしい実感しました。





バスで行くおとなの工場見学 「プライフーズ伊達工場」

組合員さんを募ったバス見学を実施しました。ニワトリが鶏肉になっていく工場内は徹底した衛生管理がされており、「安全・安心」と「いただきます」を再認識することができました。



ちょびっとボランティア 「さわやかファーム」

かぼちゃ(ブラックのジョー)の苗植えと、ハウス内の草取りのお手伝いをしました。広い畑に小さな苗をしっかりと植え、地道で大変な作業でしたが、土の香りとたっぷりのお日さま効果で、疲れも吹き飛ばす癒やしの時間となりました。



食べる・たいせつ フェスティバル

「野菜クイズに挑戦!! バッグシーラーを使ってみよう!!」をテーマに開催しました。参加者は野菜のことを学んだ後、八百屋さんのように袋詰めやラベル貼りなどの商品製造を体験し、子どもだけでなく、大人の方にも楽しんで参加していただきました。



産地交流

農業賞で特別賞を受賞した「渡辺農場」で交流会を行いました。愛情深く育てられた牛たちは穏やかで、ほとんど鳴かないほどストレスなく育てていました。今後も地元生産者の方々と交流できるように活動していきたいです。



食べる・たいせつフェスティバル「牛乳パックde帽子づくり」

1つのブースに、牛乳とたんぱく質をテーマにした学習展示と、函館牛乳さんの牛乳パックで帽子作りをする体験コーナーを設けました。初めて使うホチキスに苦戦する子もいましたが、完成後はみんな笑顔に。トドックもかぶってくれました♪



食の活動

食に関する活動に積極的に取り組み、一般の組合員さんやお子さんと一緒に楽しく活動しました。参加者からも好評だったため、これからも継続していきたい活動のひとつです。



コープさっぽろ組合員活動 函館地区委員会
@hako_mmu.wa.coop



コープさっぽろ組合員活動 苫小牧地区委員会
@coop_de_tomako

海のクリーンアップ大作戦 & 事前授業

倶知安町立東小学校5年生を対象に、海でゴミ拾いを行う前に、マイクロプラスチックの危険性や、持続可能な社会を実現するための3Rの大切さなど、学びを深める特別授業を実施しました。2日間で後志6か所の海岸清掃を行い、未来の海を守るために、これからも続けていきたいと強く思いました。



組合員さん向けイベント企画

今年は「森を大切に」をテーマに、循環くるくるバスツアーや赤井川村での協定植樹、親子対象の川の生き物観察&森の標本づくり、鮭を使ったおさかな料理教室、さくら食品でのアイス工場見学とソフトクリーム巻き体験など、組合員さんに向けてさまざまなイベントを企画し大好評でした。来年以降も、後志を中心とした食の安心とおいしさ、環境の素晴らしさを伝えていける企画を実施していきます!



クレードル興農(株)と60周年コラボ企画

コープさっぽろの関連会社であるクレードル興農さんとのコラボ企画として、契約農園でのとうもろこしの植えから収穫体験、工場見学を実施しました。食べる・たいせつフェスティバルでもコラボ出展し、とうもろこしについて学べる展示やクイズ、コープスーパの試飲を行い、1,000名以上のお子さんや保護者の方に、楽しくおいしく学んでいただきました。



コープさっぽろ組合員活動 小樽地区委員会
@kumikatu_otaru



産地見学交流会

生産者と組合員さんをつなぐ「産地見学交流会」を開催しました。大雪高原牛の肥育場や茎舞茸工場、JAひがしかわのライスターミナルと選果場を見学し、中富良野の加藤農園ではナスの収穫を体験しました。生産者の想いに触れ、「見て・食べて・学ぶ」貴重な一日となりました。

食べる・たいせつフェスティバル

スティックゼリーをモミモミして作る「可愛くておいしい、コープオリジナルジュース」づくりを体験していただきました。簡単に楽しめる内容で、親子連れをはじめ、多くの参加者のみなさんに喜んでいただけるイベントとなりました。

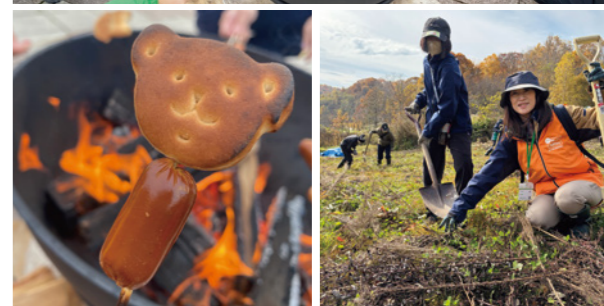


コープさっぽろ組合員活動 旭川地区委員会
@kumikatsu_asahikawa



「あさしお適塩ライフ」

旭川市健康推進課や食生活改善推進員のみなさんと連携し、店内イートインコーナーで計7回の健康イベントを開催しました。減塩しょうゆやお味噌汁の試食、減塩商品の展示、栄養士さんのアドバイスもあり、組合員さんから大変好評でした。今後もさまざまな団体とつながり、地域の健康づくりを広げていきたいと思ひます。



あしたのコープ 未来の森づくり基金 植樹活動

鷹栖町パレットヒルズで植樹活動を行い、組合員さんと一緒に、トドマツとカシワナラ計600本を植樹しました。ここは、いつでも成長を見に行くことのできる「身近な森」です。作業後は散策や工作、ミニBBQを楽しみ、参加者全員で楽しいひと時を過ごしました。自分たちが植えた木の成長を、今後見守っていくのが楽しみです。



しほろ高原牛見学

念願だった「しほろ高原牛産直交流会」を開催しました。農業記念館で札幌町農業の歴史を学び、「魁肥育牛センター・枝肉加工場・と畜場」を見学。札幌牛が大切に育てられ、食肉になるまでの工程を学びました。生産者の熱意に触れ、日頃おいしくお肉を食べられることへの感謝を改めて感じる旅となりました。



伊達高原鶏見学

コープ会さんと伊達高原鶏産直交流会に行きました。工場では、丸鶏が機械や人の手で部位に分かれていく過程を間近で見学し、衛生や品質管理の徹底に驚きました。従業員の方の丁寧な説明も印象的で、食卓に届くまで多くの方々に安全・安心を守ってもらっていると実感しました。お昼には伊達高原鶏を堪能♪親睦も深まり、充実した1日でした。



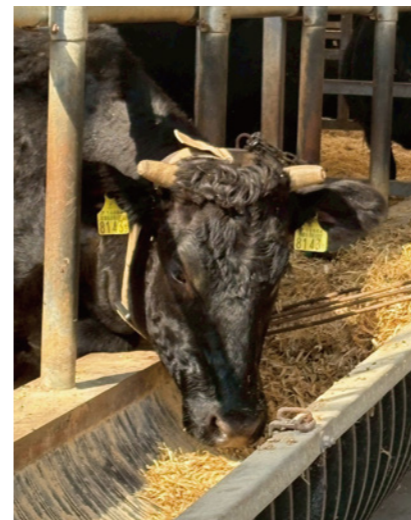
JAみねのぶとお米シリーズ

JAみねのぶと毎年実施している田植え体験を、今年度は脱穀まで行う3回シリーズとして実施しました。田植えや稲刈りは体験したことがあっても、脱穀は初めてという方が多く、とても喜んでいただきました。脱穀のあとは、全員でおにぎりを作り、豚汁を食べ、楽しい時間を過ごしました。来年度も、子どもたちに喜んでもらえる体験を企画していきます。



産直交流

組合員さんと阿部牛肉加工(株)を訪れ、産地交流を行いました。阿部牛さんでは、柔らかい肉質を持つメス牛の飼育へのこだわりや、愛情を込めて大切に育てられている様子を見学することができました。命をいただく感謝の気持ちを忘れずに、「買って応援、食べて応援」という想いのもと、阿部牛のお肉のお買い物も楽しめました。



浜のおかあさん料理教室

JF北海道女性連根室地区のおかあさんたちから、鮭の捌き方や帆立のむき方、さんまの三枚おろしを教わりました。実際に挑戦し、「家でもやってみたい」と大満足。笑い声あふれる中、おかあさんたちの温かさや海の恵みを感じる時間となりました。

食べる・たいせつフェスティバル

「おなかげんき探検隊!こうじのヒミツを大発見!」とタイトルを付け、麴について学べるブースを作りました。試飲・試食コーナーも設け、たくさんの方々に麴の魅力を伝えていただき、喜んでもらうことができました。来年度も、楽しんでもらえるテーマを考えていきます。



平和スタディツアー

今年も全道の中高生13名が、広島市の原爆資料館の見学や平和記念式典への参列、被爆証言の聴講などに参加することができました。広島で平和活動をされている住岡健太さんとワークショップを行い、現地で学んだことを、より深く自分事として考える時間を持つことができました。



ピースフォーラム inチ・カ・ホ

ツアー終了後、「ピースフォーラムinチカホ」を札幌市地下歩行空間にて、札幌市との共催で実施しました。えほん「へいわとせんそう」の展示やワークショップを行い、幅広い世代の方にご参加いただき大盛況で終了しました。



食べる・たいせつ フェスティバル

全道7会場で「オリジナル戦争ほうきを作ろう!」ブースを出展しました。体験料は全額、平和スタディツアーの募金にあてられました。ツアーに参加した生徒さんにも各地区会場でお手伝いをしてもらい、より多くの組合員さんに平和について考えてもらう機会となりました。



コープさっぽろ組合員活動委員会
@kumikatu_15

私たちは活動全般を通じて、エリア委員自らを高め、幅広くアンテナを張り、リーダー会やSNSなどあらゆる方法で分かりやすく伝えられるよう、意欲的に活動しています。

食べる・たいせつ フェスティバル

「大いなる豆」をテーマに取り組みました。坂口製粉の工場見学や、出前講師吉野さんによる学習会、南区の生産者である中田農園さんのご協力など、多くの方々にご尽力いただきました。フェス当日は、手作りの大型紙芝居を用い、大豆の知識を子どもから大人まで分かりやすく伝えることができました。



妹背牛お米たんけん隊

3回企画で行いました。毎回、一生懸命取り組む子どもたちがとても印象的でした。



SNS部

今年は、なんと3地区合同で開催することができました。それぞれの特色や投稿方法など、具体的な話し合いができ、今後もますます各地区のInstagramを盛り上げていこうと盛り上がりました。



コープさっぽろ組合員活動 札幌西地区委員会
@kumikatu_satunishi

生協について

誰もが持っている「くらしの願い」を、一人ひとりが手をつなぎ、力を寄せ合って実現させていくのが生協（生活協同組合）です。生協は、みんなで力を出し合い、自分たちのくらしと健康を守り、より良くしていくための自主的な組織です。

生協は組合員が主役

出資

一人ひとりが持ち寄ったお金で、安心して利用できる商品やお店・宅配センターなどをつくります。

利用

コープ商品や食品工場生産品など、安心できる商品の購入やサービス（共済、灯油、電気など）を利用します。

運営

組合員の意見や要望は、事業や商品開発、組合員活動に反映されます。組合員は総代になり総代会に参加することができます。

組合員活動について

組合員活動の主体は組合員です。組合員自身が企画し、協力して運営するのが組合員活動です。商品、食、子育て、福祉、環境、家計、防災などその時々々の社会の出来事やくらしの関心事をテーマに組合員活動が行われています。





コープ会について

コープさっぽろの組合員3名以上でコープ会を結成できます。コープ会のメンバーで話し合い、食や暮らし、子育て、環境などさまざまなテーマでみんなで楽しく学びましょう。コープ商品の試食や新商品の食べ比べ、産地見学や、平和や環境、SDGsについて学べるだけでなく、コープさっぽろのこともより深く知ることができます。

その他の活動紹介

つながる〜コープを知る、学ぶ、伝える〜



子育てひろば

組合員活動委員会が運営する、親子が楽しめる自由なひろばです。現在北海道約21か所で開催し、保護者とお子さんの憩いと安らぎの場所を提供しています。



ふれあいサロン

組合員活動が運営する、地域のふれあいの場所です。主にコープさっぽろ店舗のイートインコーナーで定期的開催し、地域の人たちのおしゃべりや工作など、楽しい時間を過ごしています。



ちょこっと茶屋

店舗や地域、行政と行う高齢者向け相談コーナーです。各地域の包括支援センターと協同し、何かあったときに声かけや相談ができる場所として定期的開催しています。血圧や握力測定なども実施し、組合員さんの健康管理の一助となっています。

自主グループ

地域で共通の想いを持つ組合員が集まり、その想いを実現するためにさまざまな活動を行っています。その中で、平和・福祉・環境・子育ての支援・暮らし・食育の6つのテーマで地域の組合員に役立つ自主活動を行っているグループの活動に補助します。



全道で **343**コープ会、**2,179**名が活動しました。

※2025年12月現在